

危険物取扱者試験 試験案内

(令和8年度 後期 (10月～3月) 試験)

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、愛媛県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。
受付期間後は、受験の取消しや受験内容の変更はできません。試験手数料もお返しできません。

1 試験日、試験会場、受付期間等

試験日	試験会場		試験種類	受付期間 (電子申請、 書面申請とも)	結果発表 予定日
	一般の方 【大学会場】	学校の生徒等（※１） 【高等学校会場】			
令和８年 10月18日 (日)	松山大学 文京キャンパス (松山市文京町４－２)	今治工業高等学校 松山工業高等学校 吉田高等学校	甲種 乙種第１類 ～第６類 丙種	8月28日 (金) ↓ 9月7日 (月)	令和８年 11月5日 (木)
令和８年 10月25日 (日)	(※3)				令和８年 11月12日 (木)
令和９年 1月24日 (日)	(※3)			12月7日 (月) ↓ 12月17日 (木)	令和９年 2月10日 (水)
令和９年 2月6日 (土)	愛媛大学 城北キャンパス (松山市文京町３)				令和９年 2月26日 (金)

※1 学校の生徒等に限らず、上表の「高等学校会場」で受験することができます。(大学会場での受験も可。(P7①参照))

「学校の生徒等」：大学、短期大学等を除く学校教育法第1条に掲げる学校＜高等専門学校、特別支援学校、中等教育学校、高等学校、中学校、小学校＞の生徒、及び施設入所者等で遠隔地等での受験が困難と事前に支部が認めた方をいいます。

※2 10月18日(日)と25日(日)の試験を両日とも受験することはできません。1月24日(日)と2月6日(土)の試験も同様です。(試験種類が異なっても不可)

※3 10月25日(日)と1月24日(日)は、一般の方向けの試験はありません。

2 試験開始時刻及び集合時刻

試験日	試験開始時刻 (集合時刻)		試験種類	試験会場	注意事項
令和8年 10月18日(日)	午前の部	午前10時 (午前9時半)	全種類 (複数受験含む)	全会場	1 大学会場と1月24日の松山工業高校会場での乙種第4類の受験を申請される場合、各受験者の午前午後の割り振りは、当支部が指定し、受験票で通知します。従って、受験者自らが選択できませんので、いずれの時間帯でも受験できる状態で申請してください。 2 10月18日と25日の高校会場は午前の部しかなく、1月24日の八幡浜工業高校と新居浜工業高校は午後の部しかありませんので、ご注意ください。
・ 10月25日(日)	午後の部	午後2時半 (午後2時)	乙種第4類	松山大学 (10/18)	
令和9年 1月24日(日)	午前の部	午前10時 (午前9時半)	乙種第4類	松山工業高校(1/24) 愛媛大学(2/6)	
・ 2月6日(土)	午後の部	午後2時 (午後1時半)	全種類 (複数受験含む)	全会場	

受験手続きから合格後の免状交付申請手続きまでの流れ

甲種や科目免除、
複数、併願も、
電子申請OK!

電子申請

楽っ!
願書の入手、提出の
手間ヒマいらず!

当センターホームページから入力申請

【アドレス：<https://www.shoubo-shiken.or.jp>】
申請の内容により、電子申請できない場合があります。

P 4, 5 参照

試験手数料の払込

払込方法は、クレジットカード、コンビニ、ペイジー、スマホ決済のうちから選べます。
※払込手数料が必要です。

P 12, 13 参照

受付完了メールの受信

試験手数料の入金確認後に、当センターからメールが送信されます。

受験票印刷のためのメール受信

試験日の約 10 日前に、当センターからメールが送信されます。

P 14, 15 参照

受験票のダウンロード・印刷

受験票は受験者が印刷します。当支部からは郵送されません。 **※A4サイズで印刷してください。**

書面申請

受験願書・払込用紙・試験案内の入手

入手場所：各市町地区消防本部(局)、愛媛県消防防災安全課、愛媛県各地方局防災対策室及び各支局総務県民室、当支部等

P 6～11 参照

受験願書の記入・作成

P 12, 13 参照

試験手数料の払込

郵便局又はゆうちょ銀行の窓口での払込み **(ATM機での払込み不可)** のほか、クレジットカード、コンビニ、ペイジー、スマホ決済の利用も可能です。 **(願書提出前に払込みの完了が必要)**
※払込手数料が必要です。

P 6 参照

受験願書の提出

当支部へ郵送又は持参してください。

P 14 参照

受験票の受け取り

試験日の約 10 日前に当支部から発送されます。

受験票への写真の貼付

受験票に規定の写真を貼ります。

P 14, 15 参照

試験日

写真を貼った受験票がないと受験できません。

P 16 参照

試験結果通知書受け取り

当支部から郵送します。当センターホームページには、合格者の受験番号が掲示されます。

P 16 参照

合格者は免状交付申請

当支部へ郵送又は持参してください。申請受付後、概ね 2～3 週間で交付します。

P 17, 18 参照

3 試験の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

試験の種類		取り扱うことができる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

4 受験資格

甲 種	受験資格が必要です。受験資格については、別記1「甲種危険物取扱者試験 受験資格」(P19)をご確認ください。
乙 種・丙 種	受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

5 試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目 (略称)	問題数	合 計	試験時間
甲 種	危険物に関する法令 (法令)	15 問	45 問	2 時間 30 分
	物理学及び化学 (物化)	10 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	20 問		
乙 種	危険物に関する法令 (法令)	15 問	35 問	2 時間 00 分
	基礎的な物理学及び基礎的な化学 (物化)	10 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10 問		
丙 種	危険物に関する法令 (法令)	10 問	25 問	1 時間 15 分
	燃焼及び消火に関する基礎知識 (燃消)	5 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10 問		

※ 試験科目欄の略称は、下記6の表で使します。

6 乙 種・丙 種 危険物取扱者試験の科目免除

(1) 乙種と丙種の試験については、次表の免除資格者が、免除対象試験の科目免除手続きを行えば、試験科目ごとに全部又は一部の試験が免除されます。(甲種の試験には免除はありません。)

免除資格者	免除対象試験	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
①乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種第1類～第6類	法令	全部免除	0 問	10 問	35 分
		物化	全部免除	0 問		
		性消	—	10 問		
②火薬類免状を取得しており、科目の一部免除を申請する方	乙種第1類 乙種第5類	法令	—	15 問	24 問	1 時間 30 分
		物化	一部免除	4 問		
		性消	一部免除	5 問		
③乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を取得しており、科目の免除を申請する方	乙種第1類 乙種第5類	法令	全部免除	0 問	5 問	35 分
		物化	全部免除	0 問		
		性消	一部免除	5 問		

免除資格者	免除対象試験	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
④5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組 法第51条第4項の消防学 校の教育訓練のうち、基 礎教育又は専科教育の警 防科を修了した方	丙種	法令	—	10 問	20 問	1 時間 00 分
		燃消	全部免除	0 問		
		性消	—	10 問		

※ 上表の「火薬類免状」とは、甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状、又は甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状をいいます。（火薬類取締法）

(2) 科目免除の手続き

受験者の区分	書面申請	電子申請
(1) の表の免除資格者①で、他の乙種を受験する方	「受験願書記入要領」(P 7～11) に従い、 ・免状の写しの貼付 (願書B面裏) ・「科目免除」欄の記載 (願書A面)	- 当センターホームページの電子申請画面の案内に従って、免状情報を含む必要事項を入力 - 当センターホームページの電子申請画面の案内に従って、必要事項を入力した後、センターから送信されるメールに記載のURLから、資格証明書データアップロード。(P 5参照) - 過去3年以内の受験票、受験票(控)又は試験結果通知書を所持の場合、同じ試験種類に限り、「資格判定コード」等を入力すれば、資格証明書データは不要。この場合、科目免除は前回試験の内容がそのまま適用。(P 5参照)
(1) の表の免除資格者②又は③で、乙種第1類又は第5類を受験する方		
(1) の表の免除資格者④で、丙種を受験する方		

7 複数受験及び併願受験

次のとおり「複数受験」及び「併願受験」ができます。

いずれも電子申請及び書面申請が可能ですが、書面申請の場合は、受験願書をそれぞれ種類ごとに作成し、クリップ等で一括して留め、同一の封筒に入れて提出してください。(試験手数料は、それぞれの種類ごとに必要) また、郵便払込用紙の場合は、試験手数料を1枚の払込用紙で複数分まとめて払い込むことができますが、**2次元コード経由の場合は、まとめ払いできません。**(P12、13 参照)

電子申請の場合は、必ず同じ申請画面の中で追加申請してください。(P 5参照)

(1) 複数受験

すでにいずれかの乙種危険物取扱者免状を取得している方は、同一試験時間帯に乙種の試験を**3種類まで**同時受験することができます。(それ以外の複数種類の受験はできません。)

※ 2種類受験する場合の試験時間は1時間10分、3種類受験する場合の試験時間は1時間45分で、この時間内に複数の試験を併せて行います。

(2) 併願受験 (大学会場のみ)

午前の部と午後の部の両方の試験を受けることができます。乙4+乙4の組み合わせも可能ですし、複数+乙4の組み合わせも可能です。

8 受験申請の方法

受験申請の方法は、電子申請(インターネットによる申請)と書面申請(願書による申請)の2種類があります。また、個人での申請のほか、団体申請という方法もあります。

※1 受付期間後に、受験の取消しや受験内容の変更はできません。試験手数料もお返しできません。また、電子申請では、受付期間中であっても、申請手続きが完了すると、試験手数料の返還や他の試験への振替はできません。申請手続きに不明な点がある場合は、試験手数料の支払い前に、当支部(P24参照)や電子申請室(P5参照)へお問い合わせください。

※2 受理した受験願書及び関係書類は、返却できません。

※3 身体の障害等により受験に際して必要な措置(車椅子、補聴器等の使用など)を希望される場合は、受験申請をする前にご相談ください。なお、内容によっては、ご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知おください。

8-1 [1] 電子申請の方法

電子申請(インターネットによる申請)の場合は、当センターのホームページにアクセスし、所定の画面から情報を入力してください。(2次元コードを読み取れる場合は、P5の2次元コードをご利用ください。詳しくは、ホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)の「電子申請に関するQ&A」を参照してください。

(1) 電子申請の留意点

- ア パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、受験票（PDF）を自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できることが必要です。
- イ 申請から受験までの手続きにメールアドレスが必要ですが、迷惑メール対策等で受信できないことがあります。電子申請入力画面の中で、使用するメールアドレスが当センターからの確認メールを受信できることを必ず確認したうえで、申請手続きを進めてください。
- ウ **電子申請の受付時間は、受付開始日の午前9時から受付最終日の午後11時59分までです。**（24時間対応。ただし、メンテナンス時間（毎週土曜日午前1時～午前5時のほか不定期にあり。）を除く。）**受付最終日の午後11時59分までに申請手続きが完了している申請が有効ですが、受付最終日の午後5時以降に申請手続きが完了した申請は、翌営業日の午前9時以降に審査が行われます。このため、審査により、アップロードされた証明書類等に不備が判明した場合、受付期間内に修正等ができず、受験できなくなりますので、早めの申請を推奨します。**
- エ 危険物取扱者免状を取得していることによる甲種受験資格や乙種科目免除資格のある方でも、免状番号（免状の写真下に記載されている12桁の番号）のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面申請してください。（電子申請は、免状番号の入力が必要なため。）
- オ **電子申請で「複数受験」及び「併願受験」を申請するときは、必ず同じ申請画面の中で追加申請してください。別々に申請すると、複数受験や併願受験ができず、試験手数料の返還や他の試験への振替もできない場合がありますので、ご注意ください。**
- カ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと。（書換の申請中は不可）
- キ 乙種免状既得者が乙種試験を受験する場合は、自動的に科目一部免除になります。

(2) 受験資格の証明書類の留意点

- ア 危険物取扱者免状以外の資格で、甲種や科目免除の申請をされる場合は、**証明書類を電子ファイル化（JPEG形式又はPDF形式）したものを、申請情報入力画面に従って（アップロードのご案内メールが届きます。）アップロードしていただきますので、準備をお願いします。**（右表参照）
- イ 証明書類が旧姓で、現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を証明書類と合わせてアップロードしてください。（例：運転免許証（旧姓記載、表裏両面）、戸籍抄本、住民票（旧姓記載）等）

電子ファイル化に際しての留意事項

- 電子ファイルは、次のとおりとしてください。
 - デジタルカメラ、スマートフォンで撮影したもの又はスキャンしたもの
 - 証明書類の全体が鮮明に確認できるもの
 - 印影が欠けていないもの
- 証明書類を撮影する場合は、机等の平らな場所に置いて全体を写し、ピントを合わせて鮮明に撮影してください。
- アップロードできるファイルサイズは、合計**10メガバイト**までです。
- 原本を確認させていただく場合がありますので、原本は保管しておいてください。

(3) 再受験の電子申請の留意点

- ア 過去3年以内に書面申請又は電子申請し、受理された方は、前回の受験票、受験票（控）又は試験結果通知書に印字された「受験番号」「資格判定コード」等を利用して、**合格した試験種類を除き、同じ試験種類に限り（乙種については異なる類も可）、「再受験」として電子申請することができます。**（受験地はどこでも可。この場合、資格証明書類のアップロードは不要ですが、科目免除の内容は前回試験と同じとなります。）
- イ ただし、**同一試験日に再受験の電子申請ができるのは1種類のみとなり、複数受験又は併願受験の申請はできません。（団体一括を除く。）**また、前回受験した際の受験票、受験票（控）又は試験結果通知書がない場合、再受験の申請はできません。（「受験番号」や「資格判定コード」のお問い合わせには、お答えできません。）

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室
専用電話（全国共通） 0570-07-1000（通話料必要）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始を除く）

電子申請
2次元コード



8-〔2〕 書面申請の方法

(1) 書面申請（願書による申請）の場合は、受験する種類（1種類に1枚）ごとに作成し、次表の書類の提出が必要です。提出書類に不備があった場合は、受験できない場合がありますので、ご注意ください。

提出書類名		留意点
受験願書		試験手数料の払込みだけでは受験できません。「 受験願書記入要領 」(P 7～11)をよく読んで必要事項を記入し、必ず受験願書を提出してください。
該 当 者 の み	【郵便払込用紙で払込みをされた方】 振替払込受付証明書（お客さま用）（ 原本 ） ※ 2次元コード経由で払込みをされた方は、不要です。	試験案内に挟み込んでいるセンター指定の払込用紙を使用して、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込み（ ATM機での払込みは不可 ）、受付局日附印がある「振替払込受付証明書（お客さま用）」の 原本 を願書B面表の該当箇所に貼付してください。（P 8、10、12、13 参照）
	【既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方】 危険物取扱者免状のコピー	科目免除希望の有無にかかわらず 、免状の表面、裏面のコピーを、願書B面裏の「既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄」に貼付してください。（P 8、11 参照） なお、免状が手帳式の場合は、氏名及び写真のある面と既得免状の記載がある面双方のコピーを貼付してください。
	【甲種受験申請者】 甲種受験資格を証明する書類	別記1「甲種危険物取扱者試験 受験資格」(P19)で示す証明書類（コピー可）の提出が必要です。願書B面裏の「各種証明書等貼付欄」又は「既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄」の該当欄に貼付してください。 なお、「乙種危険物取扱実務経験証明書」については、 事業主等が受験願書のB面裏の様式に直接記入（社印及び証明権限者の印の両方が必要。） してください。（同様の内容であれば、他の様式でも可。コピーでも可だが、印影が欠けておらず、鮮明に読み取れること。P 8、11 参照）
	【乙種・丙種試験の科目免除申請者】 乙種・丙種試験の科目免除資格を証明する書類	該当する乙種免状又は火薬類免状の写し、団員歴証明書等を、願書B面裏の「各種証明書等貼付欄」又は「既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄」の該当欄に貼付してください。 (P 4、8、11 参照)

(2) 受験願書等の申請書類は、次表の提出場所へ持参又は郵送して提出してください。郵送する場合は、願書を折らずに入る大きさの封筒に入れて提出してください。

提出場所	窓口受付時間
一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部 〒790-0011 松山市千舟町 4-5-4 松山千舟 454 ビル 5階 (P24 参照)	午前9時から午後5時まで (土日、祝日、年末年始を除く。)

※1 郵送による提出は、受付最終日までの日付消印があり、かつ、必要事項の正確な記入と必要な貼付書類等が全て整っているものに限り受理します。（後納郵便など、発送された日付が確認できない方法で送付され、受付最終日を過ぎて到着した場合は、受付できないことがありますので、ご注意ください。）

※2 郵送された書類に不備がある場合、受付期間内に修正できれば受理しますが、修正できない場合は返却しますので、早めの提出を推奨します。

※3 郵送による提出の場合、願書が届いたか否かのお問い合わせには、一切応じられません。確認が必要な場合は、必ず「特定記録郵便」や「簡易書留」、「レターパック」等ご自身で確認できる配達方法でお送りください。

※4 受付期間外に願書を送付された場合は、返却しますので、ご注意ください。

受験願書記入要領

受験願書は、**A面とB面の複写式**です。次の記入要領と記入例を参考にして、**黒色ボールペン**を使って丁寧に記入し、**書き損じ箇所は、横二重線を引き、余白に訂正してください。(訂正印不要)**

願書記入欄		記入要領
A	① 都道府県名	都道府県名欄は、「愛媛」と記入。
	② 申請日	願書提出日を記入。
	申請者氏名	③ フリガナ 左詰め、カナ氏名の濁点・半濁点は1マスを使って記入。
		④ 氏名 氏と名を分けて左詰めで記入。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入。
	⑤ 生年月日、本籍	該当する元号に○を付け、1桁の場合は前に「0」を付ける。 本籍欄は、本籍の都道府県名を記入。(外国籍の者は「外国籍」と記入) コードは、願書B面裏の「都道府県等コード表」を参照。
	⑥ 住所	郵便番号は、7桁枠内に記入。 住所は、3段 ①都道府県市郡区町村名・字名／②丁目・番地・号／③アパート・マンション名・棟番号・部屋番号等)に分けて記入。 「大字」「番地」「棟」「号」の文字は省略。
	⑦ 自宅電話番号等	市外局番から「－」を入れて記入。(例：089－〇〇〇－△△△△)
	⑧ 勤務先名又は学校名、連絡先電話番号	勤務先又は学校名を記入。(所属先がない場合は空欄可) 連絡の取りやすい電話番号を記入。(携帯電話も可)
	⑨ 試験日	試験日を記入。
	⑩ 試験種類	受験する試験種類に○を付ける。乙種は受験する類番号(1～6)を記入。 ※併願受験の場合は、併願するすべての願書の類番号の右側に「併」と記入してください。
	⑪ 受験地	希望する受験地名を〇〇市と記入。(例：松山の場合は、松山市) ただし、高校生などの学校の生徒等で大学会場での受験を希望する場合は、「愛媛大学」と試験会場名を記入。(P1参照)
	⑫ 甲種受験資格	甲種受験者は、資格の略称を記入(別記1(P19)参照)。乙・丙種は記入不要。
面	⑬ 科目免除 (甲種受験者を除く)	(上段) 乙種第1類又は第5類の受験者で火薬類免状を取得している方 は、該当する事項に○を付ける。なお、「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄に貼付。 (中段) 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者 は○を付け、免状両面のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄に貼付。 (下段) 丙種危険物取扱者の受験者 で、5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に 該当する場合は ○を付け、消防団員歴証明書(消防団長等が証明するもの)と消防学校の教育修了証明書(消防学校長が証明するもの)を、受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄に貼付。
	⑭ 同日に複数の試験を受ける場合 (複数受験・併願受験)	複数受験者及び併願受験者は、⑩で記入した類と同日に同一支部で受験する他の類を記入。(他の類が2つ以上の場合でも、すべて枠の中に記入してください。)
	⑮ メールアドレス (任意)	書類等に不備があった場合の連絡手段として願書記載の自宅電話等に連絡しますが、それによりがたい場合で、メールによる連絡も希望する場合はメールアドレスを記入。(携帯電話アドレス可) なお、迷惑メール対策等の設定をしている場合は、当支部からのメールが届くようドメイン指定受信等の設定(ドメイン名 jasmine.ocn.ne.jp)が必要。
	⑯ 他の都道府県申請状況	他の都道府県で3ヶ月以内に受験申請した場合は記入。

A 面	⑬ 該当する職業等	①～⑪から1つ選び○を付ける。(無職は「その他」に記入)
	⑭ 免状取得の有無等	危険物取扱者免状の既得の有無について、該当するものに○を付ける。 (「有」の場合、右側の⑳「免状番号」欄に既得の免状番号を必ず記入のこと。)
	⑮ 取得している 危険物取扱者免状	⑭で「有」に○を付けた場合は、全ての既得免状の交付状況を記入。 コードは、願書B面裏の「都道府県等コード表」を参照。 丙種のみの場合を含め、願書B面裏に免状両面のコピーを貼付。
	⑯ 免状番号	免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入。
B 面 表	★ B面は、複写式となっていますので、A面から転写されます。	
	⑰ 郵便払込用紙で払込みの場合 (P10、12、13参照)	試験案内に挟み込んでいるセンター指定の払込用紙を使用して、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込み (ATM機での払込みは不可) を行った場合は、受付局日附印のある「振替払込受付証明書 (お客さま用)」を指定箇所貼付。 <u>必ず原本を貼ってください。</u> 受付局日附印のないものは不可。 また、本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」を貼付しても 無効 。
	⑱ 2次元コード経由で払込みの場合 (P10、12、13参照)	表示されている2次元コードから払込み手続きを行った場合は、送られてくる 決済完了メールに記載されている「決済完了番号(18桁)」を下部の記入欄に必ず記入してください。また、決済完了番号は、ご自分でメモしておくことを推奨します。
B 面 裏	⑲ 各種証明書等貼付欄	甲種受験資格者の証明書類、又は火薬類免状の写しを貼付。 <u>※証明書類は、コピーの貼付も可能ですが、原本からコピーをとる際には、証明書類の全体が確認できるもので、印影が欠けていないものとしてください。また、原本を確認させていただく場合があるので、原本は保管しておいてください。</u> ※過去に甲種を受験した方、又は、試験の一部免除を受けた方は、その時の受験票、受験票(控)又は資格判定コード欄に番号が印字されている試験結果通知書をもって、それぞれの証明書類とすることができます。
	⑳ 乙種危険物取扱実務経験証明書	「実務2年」で受験する甲種受験者のみ記入。 会社印と証明者印の両方必要 。実務2年の証明内容を具備していれば、他の様式の証明書でも可。(コピーでも可だが、印影が欠けておらず、鮮明に読み取れること。)
	㉑ 既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄	危険物取扱者免状の所持者は、 科目免除希望の有無にかかわらず 、免状のコピー(両面)を貼付(氏名・写真・交付番号等の全面コピー。P6参照)。
	㉒ 5年以上消防団員で基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方が、 丙種試験の科目免除を受けるときは 、団員歴証明書(消防団長等が証明するもの)及び教育修了証明書(消防学校長が証明するもの)を貼付。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター(以下「当センター」という。)は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的の達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。



(A面 記入例)

※

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	愛媛	申請日	令和 4 年 4 月 4 日
申請者氏名	③ ショウホウ		④ 消防	ハナコ	花子
生年月日	大 昭 平 令	05 年 10 月 03 日生	本籍	愛媛	都道府県 本籍コード 38
郵便番号	791-1135		自宅電話番号又は携帯電話番号	⑦ 089-932-8808	
住所	愛媛県松山市西野町甲		⑧ 松山支店		
104-1-21		連絡先電話番号(携帯電話も可) 089-000-4444			
00マンション2B		内線()			
試験日	令和 00 年 00 月 00 日		メールアドレス(任意) @		
試験種類	甲 乙 丙 種 第 4 類 併		他の都道府県での受験申請状況		
受験地	松山市		都道府県コード 試験種類 試験日		
甲種受験資格			甲 乙 丙 種 第 類 月 日		
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を 受ける 受けない		該当する職業等に1つだけ○を記入してください		
	乙種危険物取扱者免状の交付を 受けている		① 高校生 ⑦ 危険物を扱うその他の事業		
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に 該当する		② ①以外の学生、教育・研究機関 ⑧ 公務員		
同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲 乙 丙 種 第 1 類		③ ガソリンスタンド ⑨ 警備業		
			④ 化学工業 ⑩ ビル管理業		
			⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他		
			⑥ 危険物の運送業		
免状取得の有無について記入してください	1 有 0 無		免状番号 ② 1384 1651 8689		
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和3 平成4 令和5)		免状交付年月日		交付番号
甲					
乙1					
乙2					
乙3					
乙4					
乙5					
乙6	5 02 年 07 月 16 日		00031		愛媛 38
丙					

※団体コード

※受付機関コード

※分類コード

※

(A面) 試験センター発行 508

危険物取扱者試験受験願書

(B面表 記入例)

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	申請日	年	月	日
申請者氏名	フリガナ					

※2次元コード経由で払込みができるのは、申請する試験の受付期間中だけです。ご注意ください。(なお、コンビニ及びペイジーのオンライン方式の場合は、決済申込完了の翌日から3日目まで払込みが可能です。受付期間を過ぎても払込みができます場合がありますが、書面願書は、払込みを済ませたうえで、下の決済完了番号欄に番号を記入して、受付期間内に提出することが必要ですので、それに間に合うように払い込んでください。)

※願書に印刷されている2次元コードは願書ごとに異なります。2次元コード経由で決済エラー等のため支払いできなかった場合は、多重決済防止のため同じ2次元コードを利用することができません。

※上記の場合、現在の願書を破棄し、新しい願書にて決済するか、引き続き現在の願書を使用したい場合は、郵便払込用紙での払込方法により支払いをしてください。

郵便払込用紙で払込みをした場合は、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を、必ずこの部分に貼ってください。(P12、13参照)

※必ず原本を貼ること。

◎2次元コード経由で払込みの場合

下記の2次元コードで手数料の払込みができます。



- ・2次元コードで手数料を払込む場合、払込用紙は使用しないでください。
- ・払込み後は、必ず受付期間内にこの願書を提出してください。提出しないと受験できませんのでご注意ください。
- ・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。
- ・2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストアペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号(18桁)

※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

00-00000000-000-00000000

- この用紙の大きさは、
- 本籍の欄は、本籍地の外国籍の者は、「外国籍」
- ※印の欄は、記入し

※団体コード

◎払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)	
(郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼)	
この受付証明書を日附印を押印し、依頼人に交付してください。	
払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円
※	¥ XXXX
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター
加入者番号	00170-3-136220
ご依頼人住所	松山市西野町甲 104-1-21
氏名	消防 花子
(電話)	089-932-8808
[郵便局へ]⇒日附印を押印	
貼ってください	受付郵便局印
日附印なき証明書は無効(払込人へ消防試験研究センター)	

※受付欄



願書識別番号：1120112345673

※受験番号

2次元コード経由で払込みをした場合は、決済完了メールに記載されている「決済完了番号(18桁)」を、必ずこの部分に記入して願書を提出ください。(P12、13参照)

従って、願書提出前に試験手数料の払込みを済ませておく必要がありますので、ご注意ください。また、決済完了番号は、ご自分でメモしておくことを推奨します。

(B面裏 記入例)

②③

②⑥

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

各種証明書等をこの部分にのり付け
してください。(P 8 ②③、②⑥参照)

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	32	愛媛	38	大分	44
27	岡山	33	高知	39	宮崎	45	鹿児島	46	沖縄	47	外国籍	99			
28	広島	34	福岡	40	佐賀	41	長崎	42							
29	山口	35													
30	徳島	36													

実務経験の受験資格で甲種を受験される方は、下
欄の証明書による事業所等の証明が必要です。

(P 8 ②④及びP19 別記1[3]参照)

下欄の内容を具備していれば、別紙の様式でも
可。(コピー可。ただし、印影が欠けておらず、鮮
明に読み取れること。)

②④

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	〇〇 〇〇	平成〇年〇月〇日生
取り扱った 危険物	第 3 類	品名 カリウム
取り扱った 期間	〇年〇月〇日から (3 年 3 月)	※ 〇年〇月〇日まで
製造所等 の区分	・製造所	・貯蔵所
上記のとおり相違ないことを証明します。		
証明年月日	〇年〇月〇日	
事業所名	〇〇化学株式会社	
証明者	役職 代表取締役	事業所 等の印
	氏名 〇〇 〇〇	
	電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇	
		証明 者印

「取り扱った危険物」の類別は、取得している乙種危
険物取扱者免状の種類と一致する必要はありません。

「取り扱った期間」(実務経験期間)が継続してい
ない場合、実際に取り扱った期間を通算して算定す
ることができます。(一つの事業所で実務経験期間が
不足する場合は、他の事業所での期間を通算できま
す。この場合、別途、他の事業所の証明書が必要で
す。)

※証明書作成時に実務経験中の場合の実務経験期間
の終期は、証明書の証明年月日となります。(令和8
年度から取扱いが変わりましたので、ご注意ください。
P19 参照。)

事業所(会社等)の印

証明者(事業主等)の役職印又は私印

両方必要

②⑤

既得危険物取扱者免状(コピー)貼付欄

危険物取扱者講習の状況		
修了年月日	講習実施機関	証印
(備考)		

危険物取扱者免状

氏名 消防 花子
生年月日 平成05年10月03日 本籍 愛媛県

種類等	交付年月日	交付番号	交付知事
甲種			
乙種1類			
乙種2類			
乙種3類			
乙種4類			
乙種5類			
乙種6類	R02.07.16	00031	愛媛
丙種			



写真の書換は
2030年
7月16日まで
1384 1651 8689

愛媛県知事

危険物取扱者免状を取得されている方は、科目免除希望の有無にかかわらず、免状
のコピー(両面)をこの部分にのり付けしてください。(P 6、P 7 ⑬、P 8 ②⑤参照)

(B面裏)

8-〔3〕 団体申請による受験

- (1) 法人や学校等教育機関、グループ等で、次の要件を満たすことができる場合は、団体申請することができます。団体申請を新たに希望される場合は、事前に当支部へご連絡ください。
- ア 10人以上の受験者が見込まれること。
- イ 申請手続き、試験手数料の払込み、その他関係事務を行う担当者（「団体代表者」）を置くこと。
- (2) 手続き等

区 分	手 続 ・ 条 件
書面申請	① 年度毎に当支部から入手した「団体申請申込書」を提出すること。 ② 受験願書及び試験種類別受験者名簿を一括提出すること。（払込書による受験手数料の全員分の一括払込みが可能。なお、一括払込みの場合、振替払込受付証明書の払込人氏名には、受験申請者のうち1名の氏名及び団体名を記入すること。）
電子申請	① 年度毎に当支部から入手した「団体申請申込書」を提出し、電子申請に必要な「団体コード」、「団体確認キー」及び「団体代表者キー」の交付を受けること。 ② 電子申請の種類 ○ 団体個別申請 （団体代表者の下で、受験者が個別に直接電子申請する方法） ・ 団体代表者：団体情報の登録 及び 受験者への周知（「団体コード」、「団体確認キー」） ・ 各 受 験 者：「団体申請者向けページ」での申請入力及び試験手数料の払込み、受験票の印刷 <u>※令和8年度から、団体代表者も受験票を印刷できるようになりました</u> ○ 団体一括申請 （団体代表者が、一括して電子申請する方法） ①「Excel 一括取込」 ：団体代表者が受験者情報を Excel シートに入力し申請する方法 ②「一括申請登録」 ：団体代表者が、受験者情報を1人ずつ申請画面に入力し申請する方法 ※②の場合、受験資格証明書類の電子ファイルをアップロードして提出可（原本等の送付不要）だが、①の場合は、証明書類の原本又はコピーの支部への郵送が必要。 ③ 電子申請での「団体一括申請」 の場合、上記①でも②でも、また、「団体一括払込」でも「受験者個別払込」でも、 払込手数料はかかりません 。（当センターが負担します。払込方法は、「 受験者個別払込 」は、クレジットカード、コンビニ、ペイジー、スマホ決済が可能です。が、「 団体一括払込 」は、 コンビニかペイジーのいずれかです 。）ただし、団体で集金した硬貨をゆうちょ銀行口座に預け入れるときに、場合によって硬貨取扱手数料が発生することがありますので、ご注意ください。

9 試験手数料の納入方法

(1) 試験手数料

甲 種	乙 種	丙 種	備 考
7,200 円	5,300 円	4,200 円	※ 一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。自己都合により試験を欠席してもお返しできません。（欠席の連絡は不要です。）

(2) 払込方法

払込方法は、次の5種類から選択できます。（電子申請の場合、郵便払込用紙は選択できません。）

電子申請の場合は、電子申請ページの画面の指示に従い、手続きをしてください。

書面申請で、郵便払込用紙の場合は、次の（3）をご覧ください。それ以外の場合は、願書B面表の「2次元コード経由で払込みの場合」欄に表示されている2次元コードをスマホで読み取り（※1）、手続きを進めて、払込みを行い、送られてくる決済完了メールに記載されている「決済完了番号（18桁）」を「2次元コード経由で払込みの場合」欄の下部の記入欄に必ず記入して願書を提出してください。（P10参照）従って、願書提出前に試験手数料の払込みを済ませておく必要がありますので、ご注意ください。また、決済完了番号は、ご自分でメモしておくことを推奨します。

払込（決済）方法	電子申請	書面申請	備 考	払込手数料
クレジットカード	○	○	VISA、JCB、マスターカード、アメリカンエクスプレス、ダイナース	160 円／件（税込）
コンビニエンスストア	○	○	セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ及びヤマザキデイリーストア（その他系列店は POS レジ設置店のみ）	※書面申請の場合、1 申請 1 件となり、複数及び併願受験でのまとめ払いや団体申請での一括払込不可。
ペイジー（Pay-easy）	○	○	情報リンク方式、オンライン方式	
スマホ決済	○	○	PayPay、メルペイ	
郵便払込用紙	×	○	郵便局又はゆうちょ銀行での窓口払込み（ATM機での払込み不可）	203 円／件（税込） [5 万円未満の場合]

- ※1 パソコンをお使いの場合は、センターHPトップの「書面申請の2次元コード決済はこちら」から入っていた
だき、電子申請ページの下部にある「書面申請決済情報入力」から手続きを進めて、払込みをしてください。
- ※2 2次元コード経由で払込みができるのは、申請する試験の受付期間中だけ（コンビニ及びページのオンライン
方式について、P10 参照）ですので、ご注意ください。
- ※3 試験日の翌日から、センターHPの電子申請ページで領収書をダウンロードできます。（郵便払込用紙の場合を
除く。）なお、ダウンロードには、電子申請受付番号（電子申請：17桁）又は願書識別番号（書面申請：13桁）
が必要です。（それぞれの番号は、受付完了メール（電子申請）又は決済完了メール（書面申請）に記載されてい
ますので、大事に保存しておいてください。）

(3) 郵便払込用紙の場合の払込方法と留意点

- ア 郵便払込用紙の場合は、試験案内に挟み込んでいるセンター指定の払込用紙を必ず使用して、郵便局又はゆうちょ
銀行の窓口で払い込んでください。
- ※ **ATM機での払込みは不可です。**ATM機で払い込むと、受験申請に必要な「振替払込受付証明書（お客さま
用）」を受領することができません。
- イ 窓口から受領した**日附印入りの「振替払込受付証明書（お客さま用）」の原本**を、受験願書B面表の貼付欄に糊付
けしてください。（P10 参照。本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」を貼り付けないでください。貼り付けた場
合は、改めて「振替払込受付証明書（お客さま用）」を提出していただきますので、ご注意ください。）
- ※ **複数受験及び併願受験の場合、複数分の試験手数料を、1枚の払込用紙でまとめて払い込むことができます。**こ
の場合の「振替払込受付証明書（お客さま用）」は、試験種類の数字が最も小さい試験の受験願書B面表に貼り付
けてください。（併願受験で試験種類が異なる場合は、甲乙丙の順で甲に近い願書に貼り付けてください。）
- ※ 「払込金額」欄を訂正した「振替払込受付証明書（お客さま用）」は**無効**です。金額の記入を誤った場合は、新
しい払込用紙をお使いください。
- ※ 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターとして
は、試験手数料の払込みがあったものと認めることができません。その場合は、再度払込みのうえ、新たな「振替
払込受付証明書（お客さま用）」を貼付していただくことになりますので、ご注意ください。なお、再度払い込
んだ後に紛失した証明書が発見されたときは、還付申請することができますので、当支部へご連絡ください。

この部分を貼ると無効となり、
受験できなくなります。

この赤い枠で囲まれた「振替払込受付証明書
（お客さま用）」を受験願書に貼ってください。
※必ず**原本**を貼ること。

郵便払込用紙（一部抜粋）
（必ずセンター指定の払込用紙
を使用してください。）

振替払込請求書兼受領証		振替払込受付証明書（お客さま用） （郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼人） この受付証明書に日附印を押印し、 依頼人に交付してください。	
口座記号番号	00170-3	払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ XXXXX
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター	加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ XXXXX	ご依頼人住所	松山市西野町甲 104-1-21 消防 花子 (電話 089-000-8808)
氏名	消防 花子 様	氏名	松山市西野町甲 104-1-21 消防 花子 (電話 089-000-8808)
ご依頼人	消防 花子 様	日附印	貼ってください
料金	円	受付	郵便局印
備考		日附印なき証明書は無効 (払込人へ消防試験研究センターへ)	

払込金額を記入して
ください。
甲種 7,200 円
乙種 5,300 円
丙種 4,200 円
金額の前に必ず「¥」
マークを記入してく
ださい。
※金額を訂正したも
のは無効

必ず郵便局の日附印
を確認してください。
※日附印がないもの
は無効

本人保管用

受験願書貼付用

10 受験票及び写真の取扱い

(1) 受験票の取扱い

区 分	取 扱 事 項
書面申請の場合 (試験日の約 10 日前 に当支部から発送)	① 記載内容の確認 ② 氏名欄に黒ボールペンで記入、所定の写真(下記(2)参照)を貼付 ③ 試験当日持参(受験票(控)の部分を除く。※4参照。)
電子申請の場合 (試験日の約 10 日 前に電子メール)	① 電子メールの指示に従って受験票をダウンロード(※2参照)し、 必ずA4サイズの紙に印刷してください。(拡大・縮小して印刷しないこと。) ② 印刷した受験票を中央の切り取り線で切り取り、上半分を山折りし、裏側をのり付けて貼り合わせ、 氏名欄に黒ボールペンで記入、所定の写真(下記(2)参照)を貼付。 ③ 上半分の受験票を試験当日持参(下半分(受験票(控))は持参の必要なし。※4参照。)

- ※1 書面申請において、試験日の5日前までに郵送されない場合は、当支部へ本人が直接連絡すること。
 ※2 電子申請時に入力した電子メールアドレスに、受験票がダウンロードできる旨の通知がある。
 ※3 記載内容を確認し、訂正すべき事項(氏名、住所等)がある場合は、試験当日、試験室で受付時に申し出ること。
 ※4 **受験票(控)は、今後、合格発表の確認、甲種や電子申請の再受験の際に使用できるので、大切に保管すること。**

(2) 貼付する写真の規格等

写 真 の 大 き さ	縦4. 5cm × 横3. 5cm (いわゆる パスポートサイズ)
画 質 ・ 画 像	試験日の6か月以内に撮影したカラー又は白黒写真で ・ 鮮明なもの(デジタル写真の場合は、フィルム写真と同等以上の高画質なものに限ることとし、写真専用紙で印刷すること。) ・ 髪などで顔がかくれず、よく分かるもの ・ 胸から上の正面三分身像、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景 ・ 枠なし
裏 書 き	写真の裏面に撮影年月日、氏名、年齢を記入

(3) 受験票のイメージ

【書面申請者用受験票】

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号 (0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	消 防 太 郎		
試 験 日 時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00
既得免状			

999-9999
 ○○県○○市○○町
 1-23-45
 消防 太郎 様

受験票
 一般財団法人消防試験研究センター ○○県支部
 〒123-4567
 ○○県○○市○○区○○町1-23-45
 ○○市センタービル10階
 Tel 123-456-7890

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
 受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
 1 受験票がない場合
 2 受験票に写真を貼っていない場合
 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
 この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写 真
縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載。6ヶ月以内に撮影したもの(正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)しっかりとのり付けて下さい。(セロハンテープ不可)

複数受験者座席番号 (0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	受験者氏名を「仮書」で記入して下さい。		
試 験 日 時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

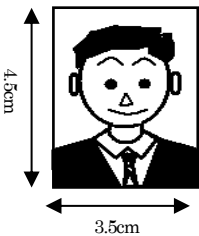
8014211225050E100013 免なし
 001-01-0001 00001 (1234)
試験当日、この受験票は回収します。

〔写真の例〕

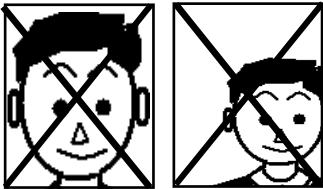
- ・ 前髪が目にかかっていたり、サングラスをかけたたりしない。
- ・ 画質の悪いもの、キズのあるもの、不鮮明なものなども不可。
- ・ 写真を貼付する際に、糊などで写真や受験票が汚れないよう、ご注意ください。

○ 受験票の氏名欄は、黒ボールペンで記入。

良い写真



悪い写真



【電子申請者用受験票】

※ 必ずA4サイズの紙に印刷してください。
(拡大・縮小して印刷しないでください。)

注 意 事 項

- 次の場合は受験することができません。
 - 受験票がない場合
 - 受験票に写真を貼っていない場合
 - 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いします。
- 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。

一般 財団法人 消防試験研究センター ○○県支部
〒123-4567 Tel 123-456-7890
○○県○○市○○区○○町1-23-4○○市センタービル 10 階

危険物取扱者試験 受験票

写 真
縦 4.5cm×横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
6ヶ月以内に撮影したもの
(正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)
しっかりとのり付けして下さい。
(セロハンテープ不可)

③写真を貼る

②山折り・
のり付け

④黒ボー
ルペン
で記入

複数受験者座席番号(0004)

受験番号	EI-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	受験者氏名を「かゝ書」で記入してください。		
試 験 日 時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(0004)

受験番号	EI-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	消 防 太 郎		
試 験 日 時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00
既得免状			
受 験 者 現 住 所			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。

次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なですので、大切に保管してください。

①切り離す

11 試験当日の留意事項

(1) 持ち物

ア **受験票** (縦 4.5 cm × 横 3.5 cmの写真を貼ったもの。P14、15 参照)

※ 複数受験者及び併願受験者は、それぞれの試験種類の受験票が必要です。

イ **B又はHBの鉛筆(シャープペンシル含む) 数本**

ウ **プラスチック消しゴム**

(2) 試験会場と集合時刻

受験票に記載されている試験日、集合時刻、試験開始時刻、試験会場等を必ずご確認ください。集合時刻までに指定された試験室の座席に着席してください。試験開始前に受験上の留意事項等を説明します。

(3) 試験の方法

種 類	方 法
甲種又は乙種	5肢択一式(マークシート方式)
丙種	4肢択一式(マークシート方式)

(4) その他

ア 次の場合は受験できません。

① 受験票がない場合

② 受験票に貼付する写真をお持ちでない場合

③ 本人と確認できない写真(マスク、サングラスの着用等)を貼っている場合

イ 鉛筆又はシャープペンシル以外の筆記用具(ボールペン等)を使用して解答カードにマークした場合には、機械が読み取れず、0点となることがありますので、使用しないでください。

ウ 参考書、法令集等の参照は一切できません。

エ 受験机には、筆記用具、飲用ペットボトル、腕時計以外のもの(テンプレート等の定規類、下敷き、筆箱、電卓、電子手帳、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等)は、置かないでください。

オ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。(これらの電子機器類を時計として使用することはできません。)

カ 試験問題集や解答カードの持ち帰り、問題の撮影やメモは失格となるので、留意してください。

キ その他

① 試験会場等が変更されていることがあります。受験票に記載された試験会場等をよく確認してください。

② 試験に関して、試験会場へ電話の問い合わせはしないでください。

③ 試験会場には、駐車場はありません。試験会場周辺に違法駐車、迷惑駐車は絶対にしないでください。

12 合格基準

試験科目毎に、60%以上の成績(正答率)であること。

なお、前述6(P3、4)により科目の一部が免除された場合は、免除された以外の問題で上記の成績であること。

13 試験結果発表

試験結果は、下表の3通りの方法で発表します。

なお、試験結果の合否、受験番号、試験問題及びその解答に関する電話等でのお問い合わせには、一切お答えできません。

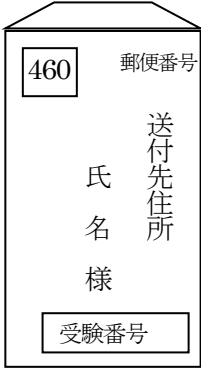
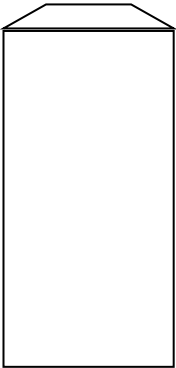
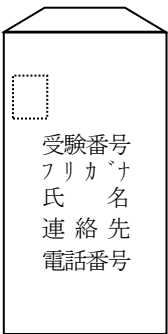
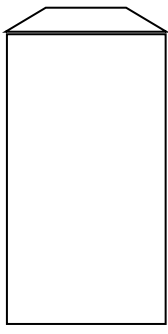
発表方法	備考
試験結果通知書	試験結果発表日に、受験者全員に合否を記した試験結果通知書を当支部から発送します。(圧着はがき)
当支部掲示板	試験結果発表日の午前9時から、合格者の受験番号を当支部の掲示板に公示します。
ホームページ	試験結果発表日の正午から、合格者の受験番号を当センターホームページに掲示します。(アドレス: https://www.shoubo-shiken.or.jp)

14 合格者の免状交付申請手続き

試験に合格した方は、試験結果通知書下段の枠内説明文及び下表に従い、当支部に郵送又は持参して、免状の交付を申請してください。

なお、免状交付申請に必要な経費は自己負担となりますので、ご了承ください。

また、試験日から6か月過ぎますと、再度写真の提出をお願いすることになりますので、ご注意ください。

申請時にご提出いただくもの	免状を郵送で受け取る場合	免状をセンター支部窓口で受け取る場合
1 試験結果通知書・免状交付申請書	○結果通知書と免状交付申請書は切り離さずに提出してください。 ○免状交付申請書に、申請日、申請者名（合格者名）、連絡先電話番号を必ずご記入ください。	
2 定形封筒 長さ 14～23.5 cm 幅 9～12 cm	この封筒を使用して、免状ができあがり次第、簡易書留郵便で郵送しますので、封筒表面に送り先（申請者）の住所、氏名、受験番号を記入のうえ、460円分（下記「注意事項」参照）の郵便切手を貼付したものをご用意ください。 勤務先等申請者の住所以外の場所に郵送を希望する場合は、表面に希望送付先の住所、宛名とともに、必ず申請者の氏名を記入してください。 表  裏  ★送付先の記入には、次ページの①をご利用ください。	窓口で受け取る場合も、紛失等を避けるため、この封筒を使用しますので、封筒表面に受験番号、氏名、連絡先電話番号を記入したものをご用意ください。（郵便切手は不要です。） 免状ができあがり次第、電話連絡しますので、窓口へお越しください。 その際、 ① 本人が受領する場合は、印鑑 ② 代理人が受領する場合は、委任状、代理人の写真付き公的証明書（運転免許証等）及び代理人の印鑑 が必要です。 表  裏 
3 愛媛県収入証紙（2,900円）	愛媛県収入証紙（収入印紙ではない）は、伊予銀行本店・支店（一部支店を除く）等の愛媛県収入証紙売りさばき所（当センターホームページの「証紙入手先」からアクセス可）で購入し、申請書裏面の手数料貼付欄に重ならないように貼付してください。（抹消印のあるものは不可）	
4 既得危険物取扱者免状	危険物取扱者免状を所有している方は、既得免状を添付してください。（携帯義務のある方は、既得免状の両面の写しを添付し、新しい免状の交付時に既得免状を返納してください。） 既得免状を亡失又は滅失した方は、その免状の再交付申請を同時に行ってください。	

注意事項 事業所等で、複数名の免状の一括交付を申請される場合は、以下の点に注意してください。

- （1）複数名の申請者の申請書をまとめて提出してください。
- （2）免状送付用封筒の裏に、申請者全員の受験番号と氏名を記入してください。（別紙名簿同封も可）
- （3）免状枚数が7枚以上の場合の簡易書留用郵便切手料金は、上記460円を次のとおり読み替えてください。

免状枚数	7～12枚	13～19枚	20～33枚	34～67枚
切手料金	530円	620円	670円	860円

（4）団体代表者等がセンター窓口で代理受領する場合の留意事項は、上表2の右欄の記載内容と同じです。

※この頁を免状交付申請の際に切り取り、封筒に貼り付けてご利用ください。

①あなたが、できあがった免状を郵送で受け取る場合に、ご用意いただく定型封筒（免状郵送用封筒）の表面に貼り付けてご利用ください。（前ページ参照）

②あなたが、免状の交付申請に必要な申請書や免状郵送用封筒等を、センターに郵送するときの封筒表面に貼り付けてご利用ください。

460 円分の郵便切手を貼ってください
(免状受取用)

郵便切手を貼ってください
(申請用)

7900011

松山市千舟町四丁目5-4
松山千舟454ビル5階
一般財団法人消防試験研究センター
愛媛県支部 行

(申請書・免状郵送用封筒・旧免状在中)

簡易書留

様

(新規作成免状在中)

一般財団法人 消防試験研究センター
愛媛県支部
〒790-0011
松山市千舟町四丁目5-4 松山千舟454ビル5階
TEL (089) 932-8808

受験番号

—

※受験番号を記入してください。

住所

〒 —

氏名

差出人

受験番号

—

※受験番号を記入してください。

別 記 1

甲 種 危 険 物 取 扱 者 試 験 受 験 資 格

※書面申請の場合、「証明書類」欄の書類は、**すべてコピー提出可**（縮小も可。P 6～8、11、下記注1 参照。）
 ※電子申請の場合、申請情報入力画面に従い、「証明書類」欄の書類の**電子ファイル（PDF 形式又はJPEG 形式）をアップロード**。（原本等の送付の必要なし。）危険物取扱者免状は、免状番号を入力。（アップロード必要なし。）
 （P 4、5、下記注1 参照。）

資 格 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
[1] 大学等において 化学に関する学科又は課程 を修めて卒業した者 (別表1 (P21) 参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・ 中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業 能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、 外国に所在する大学等	大 学 等 卒	卒業証書、学位記等卒業した ことを証する書類又は卒業証 明書 (いずれも学科等の名称が明 記されているもの)
[2] 大学等において 化学に関する授業科目を15単位以上修得 した者 (別表2 (P22、 23) 参照)	大学、短期大学、高等専門学校(高等専門学校 は専門科目に限る)、大学院、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、 海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発 総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力 開発短期大学校、外国に所在する大学等	1 5 単 位	単位修得証明書 (書式例2 (P20) 参照) 又は成績証明書 (いずれも修得単位が明記さ れているもの)
[3] 乙種危険物 取扱者免状 を有 する者	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、 危険物製造所等で 2年以上危険物取扱いの 実務経験を有する者（証明者が証明した日 に基準を満たすこと）	実 務 2 年	乙種危険物取扱者免状及び乙 種危険物取扱実務経験証明書 (P 6、8、11 参照)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の 交付を受けている者 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4 種 類	乙種危険物取扱者免状
[4] 修士・博士の 学位 を有する者 (別表1 (P21) 参照)	修士又は博士の学位を授与された者で、 化 学に関する事項を専攻 した者(外国の同学 位も含む)	学 位	学位授与証明書、学位記、修了 証書、修了証明書のいずれか (学位を取得していること、か つ、化学に関する事項を専攻し たことがわかるもの)
上記のいずれかにより、過去に甲種危険物取扱者試験の受験申 請をしたことがある場合は、その時の受験票若しくは受験票 (控)又は試験結果通知書を有している者		上 記 の うち 該 当 する 略 称	受験票、受験票(控)又は試験結 果通知書 ※電子申請の場合、資格判定コード等の入 力のみでよい。(アップロード必要なし。)

注1 書面申請用に証明書類を原本からコピーする場合、又は、電子申請用に証明書類をデジタルカメラやスマートフ
ォンで撮影したり、スキャンする場合は、証明書類の全体が確認できるもので、印影が欠けていないものとしてく
ださい。また、原本を確認させていただく場合があるので、原本は保管しておいてください。

注2 [1]の卒業証書、学位記等又は卒業証明書は、化学に関する学科又は課程が証明できるものがが必要です。高等学
校及び中等教育学校の専攻科については、修業年限が2年以上のものに限りします。

注3 [1]及び[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、
証明書類として上表の書類のほか、次のア又はイのいずれかの書面が必要になります。

(ただし、上表の証明書類に次のア又はイの内容が記載されている場合は、次の書面は不要です。)

ア 「専門士」若しくは「高度専門士」の称号が付与されていることを証明する書面。

イ 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上である
ことを証明する書面。(書式例1 (P20) を参照してください。)

注4 [2]の大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。

また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

注5 「3」の乙種危険物取扱実務経験証明書は、事業主等の証明書です。受験願書B面裏の様式（P11④参照。）を使用するか、同様の内容のものを提出してください。（電子申請でも、同様の内容の電子ファイルをアップロードしてください。）また、実務経験期間は、一事業所で不足する場合、他の事業所での期間を通算できます。この場合、別途、他の事業所の証明書を添付すること。）

注6 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細は、願書提出前にお問い合わせください。

注7 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

○ 専修学校用受験資格証明書 <書式例1>

右の例の内容が記載されてい
れば、証明書の書式は問い
ません。

○○第 号	
甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）	
○○ 年 月 日 入学	○○ 科 ○○ コース
○○ 年 月 日 修了	
氏名 ○○ ○○	
年 月 日 生	
学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号	
○○ 年 月 日	△△△第 号
課 程 の 名 称	○ ○ ○ 専門課程
修 業 年 限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700 時間
上記のとおり証明する。	
年 月 日	
（専修学校の所在地）	
○○専修学校 学校長	氏名 ○○ ○○ 印

○ 単位修得証明書 <書式例2>

1 右の例の内容が記載されてい
れば、証明書の書式は問い
ません。

2 学長等が「化学に関する分
野」と認めた授業科目は、原則
として、そのまま単位として
認めます。

○○第 号			
単 位 修 得 証 明 書			
○○ 年 月 日 入学	○○ 部	○○科	
○○ 年 月 日 修了			
氏名 ○○ ○○			
年 月 日 生			
化学の科目名	修得単位数 又は時間	化学の科目名	修得単位数 又は時間
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2
上記のとおり証明する。			
年 月 日			
○○大学 学長	氏 名	○○○○	印

別 表 1

化 学 に 関 す る 学 科 等 の 例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる「化学に関する分野」の学科又は課程
- 2 次の表に示す学科又は課程等

※下表にない場合は、お問い合わせください。

化 学 に 関 す る 学 科 又 は 課 程 等 の 名 称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料科学工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料物性学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料加工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料機能工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料工学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

注1 学科の名称にかえて「部門」、「類」、「系」、「専攻」等の名称を用いるものは、学科又は課程とみなします。

注2 学科名等の下に、「専攻」、「系」、「コース」等の名称を用いるものは、学科又は課程と同等とみなします。

別表 2

化学の授業科目例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる「化学に関する分野」の授業科目

2 次の表に示す授業科目

※下表にない場合は、お問い合わせください。

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称									
ア	アモルファス物性工学	カ	環境物質工学	コ	高機能材料プロセス特論	サ	材料解析	シ	食品工業微生物学
	安全管理学		感光物性論		工業火薬学		材料開発工学		食品分析学
	安全工学		岩石学		工業材料		材料科学		植物分子生物学
	安全防災工学		官能基変換論		工業排水処理		材料加工学		人工結晶
イ	移動現象論	キ	機器分析	ク	工業爆薬学	ケ	材料強度学	ス	人造繊維工学
	移動速度論		機能高分子学		工業反応速度論		材料強度物性学		新薬論
	医薬品安全性学		機能性高分子材料学機		工業微生物		材料結晶学		水質学
	医薬分子設計学		能性材料工学		工業分析		材料工学		製剤学
エ	医用高分子機能学	ク	機能性触媒工学	コ	格子欠陥	カ	材料構造解析学	セ	製剤工学
	衛生工学		機能性有機材料		公衆衛生学		材料精製工学		製紙科学
	衛生薬学		機能セラミック論		高重合反応		材料精密工学		製紙学
	栄養学		凝固論及び結晶生成		合成鉱物		材料組織学		製紙工学
オ	エレクトロニクス	ケ	金相学	カ	抗生物質	キ	材料組織形成論	ク	製造薬学
	エレクトロニクス材料工学		金属学		厚生薬学		材料熱力学		生体機能工学
	応化・プロセス工学		金属加工学		合成薬品製造学		材料反応学		生体機能電気科学
	回折結晶学		金属工学		構造用金属材料		材料物性学		生体機能利用学
カ	界面工学	コ	金属材料学	カ	酵素利用学	キ	材料物理工学	ク	生体工学
	界面制御学		金属材料工学		鋼中非金属介在物		材料プロセス設計		生体高分子学
	界面電子工学		金属製錬学		鉱物学		錯塩基及び酸化還元		生体触媒学
	界面物性		金属組織学		高分子科学		産業廃水処理		生体光反応学
	科学史		金属の相変態		高分子学		色彩工学		生体分子工学
	核燃料工学		金属表面処理		高分子工学		色染実験		生体分子反応
	核燃料サイクル特論		金属物性		高分子合成		システム安全工学		製鉄製鋼耐火物
	核融合概論		計算溶液特論		高分子構造		焼結固体反応論		生物機能開発学
	核融合工学概論		結晶回折		高分子固体構造論		焼成材料		生物機能工学
	化工熱工学		結晶材料工学		高分子コロイド科学		醸造学		生物機能利用学
	化工熱力学		結晶評価工学		高分子材料学		醸造工学		生物学
	化工物理学		原子エネルギー工学		高分子反応		醸造工業概論		生物資源科学
	化工流体工学		原子核工学		高分子物性論		状態方程式特論		生物資源利用学
	化石エネルギー		原子力工学		固相変態論		触媒工学		生物反応工学
	火薬学		原子炉材料学		固体反応		触媒設計		生物物性学
	ガラス工学		原子炉燃料		固体表面科学		触媒反応工学		生物分子科学
	ガラス材料		高温材料		固体物性論		食品衛生学		生物薬学
	ガラス状態論		高温反応工学		固体平衡論		食品栄養学		精密材料物性
	ガラス物性		光学活性体合成論		コロイド学		食品科学		精密素材工学
	環境汚染物質分析学		高機能材料特論		細胞培養学		食品工学		精密分離工学

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称 (続 き)

セ	精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精鍊漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料	ハ	反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能	フ	分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論 無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学	ヤ	薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体有機材料電子物性 窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

(備考) 化学に関係のある実験、実習も授業科目として扱います。

【注 意 事 項】

災害の発生等により、急遽、試験会場や日程を変更する場合があります。その場合は、愛媛県支部からの緊急情報としてホームページに掲載しますので、ご留意下さい。

願書提出先・お問い合わせ先

一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部

〒790-0011 松山市千舟町 4-5-4 松山千舟 454ビル5階

TEL 089-932-8808 FAX 089-935-4484

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日、年末年始を除く)

※消防試験研究センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書の販売等は一切行っていません。

